

地域コミュニティ分野

みなとタウンフォーラム 第4グループ

第4グループ[メンバー]

飯沢 未央	飯塚 哲也	小野 直子
小野寺 学	久良木 美奈	椎尾 実和子
平尾 恭一	藤田 理子	宮田 明
吉永 みち子		

※メンバーは五十音順



令和5(2023)年3月23日

提言にあたって

第4グループ【地域コミュニティ分野】

私たち第4グループでは、地域コミュニティには、町会や自治会、マンションといった地域によるつながりと、テーマや目的、趣味や嗜好等で集まるつながりがあることを踏まえ、「時代変化に応じた地域によるつながりの変革（町会・自治会、マンション）」と、「人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化（NPO、ボランティア団体、サークル、サロン）」の2つをテーマに設定し、議論を重ねました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、生活様式と地域コミュニティに大きな影響を与えています。

地域コミュニティにおいては、様々なイベントや親睦活動が大きく制限されました。

一方で、テレワーク環境が整備されたことで、住まいとその地域で過ごす時間が増え、人々の関心が地域に向くようになっていきます。

これまで、地域の住民や商店街等を中心とした町会・自治会が、地域の清掃や安心・安全に関する活動のほか、お祭りなどの季節ごとのイベントをとおして、地域コミュニティの中心的な役割を担ってきました。

しかしながら、町会・自治会では、担い手の高齢化や固定化、住民や住まいの多様化などに加え、コロナ禍の制限もあり、「隣近所の助け合い」がますます難しくなっています。

また、近年は、再開発により大規模なオフィス・マンションが建設されるなど、まちの変化が加速しています。今や区内の約9割の世帯の住まいが共同住宅であり、マンションには、町会・自治会との連携を含めた様々な活動をとおして、地域コミュニティの役割を

分担していくことが期待されています。

そして、区内では、増加傾向にある住民はもとより、多くの在勤者や在学生なども、多様な背景・価値観の下で、様々な形態と目的の地域コミュニティ活動を行っています。

また、地域との関わりを持とうとしている人・企業・団体も増えてきています。

そのような中、区内の地域コミュニティ活動に関する情報が人々に届いていない、参加方法が分からないといった課題や、参加障壁が高い、地域愛などの人々の参加意欲を育む機会が少ないといった課題が見えてきました。

こうした現状や課題を踏まえ、テーマ1では「情報提供態勢の強化」「多様な人材の取り込み」、テーマ2では「多様な主体のつながりの発展・強化」「地域への愛着の醸成」「活動の場所や機会の確保」という施策の方向性を定め、具体的な取組について議論しました。

あわせて、地域課題の多様化、複雑化により、行政の対応範囲が広範に及んでいる中、その解決には、行政（区、職員）、地域コミュニティ活動の各種主体（各種の組織・団体、個人）がパートナーとして相互に連携・協働して取り組む必要があることを再確認し、活動主体を主語とした「参画と協働」についても議論しました。

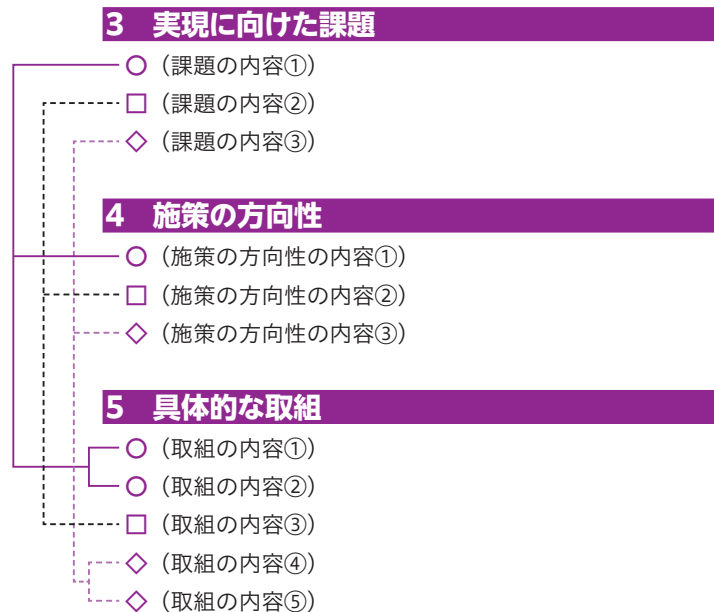
この提言が港区基本計画に反映され、港区に関わるあらゆる人々がつながりを持ち、孤立することなく安心して過ごすことのできる「ふるさと」と思えるまちになっていくことを願っています。

提言の体系

具体的な取組	
【テーマ1】 時代変化に応じた地域によるつながりの変革(町会・自治会、マンション)	<ul style="list-style-type: none"> ● 町会・自治会の情報発信の支援 ● 多様な人材をつなぐための支援
【テーマ2】 人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化(NPO、ボランティア団体、サークル、サロン)	<ul style="list-style-type: none"> ● つながる機会の充実 ● 地域への愛着の醸成 ● 活動の場所や機会の確保

提言書の見方

提言書における、実現に向けた課題や施策の方向性、具体的な取組など、各項目間でつながりがあるものについては、記号（○、□、◇等）によって関連性を明らかにしています。



第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

時代変化に応じた地域によるつながりの 変革(町会・自治会、マンション)

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「地域に関わるあらゆる人たちがつながり皆で支え合い、安心して過ごせて、愛着を持てる、ふるさとと思えるまち」

港区は地域ごとに特色を持っており、区民のみならず港区で働く人を含めた港区と関わりを持っている人々が、それぞれの立場を尊重し、つながり、支え合うコミュニティのある、愛着を持てるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

再開発の加速

- 港区では再開発に伴うマンション等の増加により、転入者が増加しているが、地域コミュニティへの参画が十分に得られていない。
- 地元密着の商店などが地域コミュニティの一翼を担ってきたが、再開発により、そうした商店が減少している。

新型コロナウイルス感染症の拡大

- 在住者は、地域で過ごす時間が増加したことで、防災や福祉など地域社会への関心が高まっている。
- イベント自粛により、町会・自治会・マンション管理組合の地域活動や親睦活動が制限されている。
- 新しい生活様式により、区外からの通勤者が減少し、地域の企業、在勤者と町会・自治会との接点が減少した。
- SNSやオンラインの利用が活発化し、コミュニケーションの方法が多様化している。
- 経済格差が助長され、生活困窮世帯の増加やそれに伴う人々の孤立が深刻化している。

住民の多様化

- マンションの増加など、まちの構造が変化することで価値観が多様化し、地域コミュニティにおいては、従来のような隣近所の助け合いが難しくなっている。
- 現役世代の単身者、単身の高齢者、高齢者家族、外国人、LGBTQなど、住民や家族構成の多様化が進んでいる。

3 実現に向けた課題

○情報提供態勢の不足

- 町会・自治会の情報が、既存の住民や転入者、在勤者などに届いていない。
- デジタルに馴染みがないことからWEB発信へのハードルが高く、WEBを通じた情報発信がされていないこと。
- 発信されていてもその情報量と内容が十分でないこと。

□参加障壁

- 既存の住民や転入者、在勤者などの中には、町会・自治会に対する固定された先入観を持っている人も多く、また、一部の町会・自治会では新たな担い手に対して構えてしまうことがあり、参加するハードルを上げてしまっている。
- 町会・自治会では後継者不足による担い手の固定化や役員の高齢化が進んでいるため、生活様式の異なる若年層や転入者との接点や意見等をくみ上げる仕組みがない。
- 高齢者や昔から住んでいる人たちを中心とした活動にならざるを得ない。

4 施策の方向性

○情報提供態勢の強化

- 転入時における区からの紹介や町会掲示板等これまでの発信では取り込めなかった既存の住民や転入者、在勤者などの層に対して、町会・自治会から、WEBを通じた情報提供を強化する。

□多様な人材の取り込み

- 町会・自治会・マンション管理組合が若者や現役世代など多様な人材と接点を持てるように支援する。

5 具体的な取組

○町会・自治会の情報発信の支援

- ・インターネットが情報取得の主要手段となっている世代等に対して、ホームページやSNS等で町会・自治会が情報提供できるように支援する。
- ・町会・自治会の魅力あるコンテンツを提供する。

□多様な人材をつなぐための支援

- ・町会・自治会・マンション管理組合と多様な人材が接点を持てる機会・きっかけづくりを支援する。
- ・町会・自治会・マンション管理組合と多様な人々をつなぐ中間支援組織を支援する。
- ・住民同士のつながりの必要性の啓発などマンション内のコミュニティの形成・強化、リーダーの育成、マンション管理組合と町会・自治会をつなぐ人材の育成を支援する。

6 参画と協働の推進

○区民や在勤者のプロボノ

区民・在勤者がそれぞれ仕事などで培った専門的なスキルや知識を生かして、情報提供の強化などに関する区プロジェクトに参加する。

○町会・自治会からの情報提供

町会・自治会から加入についての情報や町会・自治会が行っている活動内容の情報を提供する。

□中間支援

中間支援的な役割を果たしている組織と区が協働する。

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「港区に関わるあらゆる人が協働することでつながり、誰もが安心して憩える居場所がある包容力のあるまち」

区民のみならず港区で学ぶ人・働く人を含めた港区と関わりを持っている人々が、お互いの立場を理解し、共通の目標や成果に向けて協働しながら、誰にとっても頼れる場所、安心して集える場所、間口が広く敷居が低い場や機会のある包容力のあるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

新型コロナウイルス感染症の拡大

- ・ 在住者は、地域で過ごす時間が増加することで、防災や福祉など地域社会への関心が高まっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、人の縁や共通の目的・テーマでつながった団体の活動も縮小し、対面機会が減少した。
- ・ SNSやオンラインの利用が活発化し、コミュニケーションの方法が多様化している。
- ・ 経済格差が助長され、生活困窮世帯の増加やそれに伴う人々の孤立が深刻化している。

住民・在勤者の多様化

- ・ 現役世代の単身者、単身の高齢者、高齢者家族、外国人、LGBTQなど、住民や家族構成の多様化が進んでいる。
- ・ 港区には多くの企業、大使館が存在し、多様な人々が活動している。
- ・ 住民の多層化により、暮らし方や価値観が多様化し、個別・個人の時代へと変化している。

3 実現に向けた課題

○つながりを作る機会が少ない

- 活動団体等の情報が少なく、可視化されていない。
- 地域と関わりを持ちたいと考えている人や企業・団体もあるが、どのように関わればいいかが分からない。
- マッチングする側、される側、双方の情報不足によって、個人間、団体間、個人と団体がつながらない。

□地域への関心・愛着を深める機会が少ない

- 地域の魅力が十分に発信されておらず、認識されていない。
- 地域への関心・愛着を深める機会が少ないことで、地域のために時間を使うという動機につながらず、地域活動において、住民や在勤者等の能力が十分に活用されていない状況にある。

◇活動の場所や機会の不足

- 区有施設は利用目的が合致しないと利用できない施設が多い。
- 面白い取組をしようとしても集まる場所が不足している。
- 人の縁や共通の目的・テーマでつながっている既存コミュニティの活動は、新規に参加する際のハードルが高く、受け身の人や無理のない範囲で関わってほしいという人が入りやすい場が少ない。

4 施策の方向性

○多様な主体のつながりの発展・強化

NPO・ボランティア団体・サークル・サロン、町会・自治会、企業、区（行政）それぞれが持っている強みを生かせるように、つながりを発展・強化する。

□地域への愛着の醸成

地域や団体の魅力発信、共有をとおして、興味・関心、地域への愛着を引き出し、コミュニティへの参画を促す。

◇活動の場所や機会の確保

区内にある資源を活用し、地域全体で活動の場を創出、確保し、参加しやすい場づくりを支援する。

5 具体的な取組

○つながる機会の充実

- ハブになる人材や団体、手伝ってほしい内容など、マッチングに必要な情報提供を強化し、間口を広げる。
- 地域活動団体、在住者や在勤者をつなぐプラットフォームの活用を促進する。
- NPO、地域活動団体、企業などのつながりを支援する。
- 企業等と協働して、地域活動の可視化につながる情報発信を促進する。

□地域への愛着の醸成

- 地域の人材等を活用して、より多くの在住者・在勤者に地域のことを深く知ってもらう取組を行う。
- 個人の興味・関心、趣味・嗜好を捉え、様々な切り口から地域の魅力を発信する。

◇活動の場所や機会の確保

- 既存の民間施設を地域団体の活動場所として活用できる仕組みをつくる。
- 様々な人に門戸を開き多様な形での関わりが可能な場づくりを支援する。

6 参画と協働の推進

○プラットフォームの活用

地域の人・団体の自主的な行動として、地域活動団体、在住者や在勤者をつなぐプラットフォームを活用する。

○積極的な意見交換

在住者・在勤者等と区が、地域コミュニティの課題について、積極的に意見交換する。

□地域からの魅力発信

地域の人や企業等も積極的に地域の魅力について発信する。

◇参加しやすい団体運営

間口が広く敷居が低い、様々な人が多様な形で関わるができる団体の運営をする。

開催経過

回数	開催日時	内容
第1回	令和4年10月11日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">事務局紹介グループ会議の進め方について分野における現状と課題について検討テーマの選定リーダー、サブリーダーの選出
第2回	令和4年10月26日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第1回グループ会議の振り返り検討テーマ「時代変化に応じた地域によるつながりの変革（町会・自治会、マンション）」に関する議論 将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討
第3回	令和4年11月16日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第2回グループ会議の振り返り検討テーマ「人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化（NPO、ボランティア団体、サークル、サロン）」に関する議論 将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討
第4回	令和4年11月30日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第2回及び第3回目の内容確認についてテーマ「時代変化に応じた地域によるつながりの変革（町会・自治会、マンション）」のまとめ
第5回	令和4年12月7日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">テーマ「人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化（NPO、ボランティア団体、サークル、サロン）」のまとめ
第6回	令和4年12月21日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">提言内容の確認 テーマ「時代変化に応じた地域によるつながりの変革（町会・自治会、マンション）」について テーマ「人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化（NPO、ボランティア団体、サークル、サロン）」について
第7回	令和5年1月11日(水) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">提言内容の最終確認について テーマ「時代変化に応じた地域によるつながりの変革（町会・自治会、マンション）」について テーマ「人の縁や共通の目的・テーマでのつながりによる地域の活性化（NPO、ボランティア団体、サークル、サロン）」について提言式について